



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社東京衡機 上場取引所 東  
 コード番号 7719 URL <http://www.tksnet.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 勝三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 平岡 昭一 (TEL) 042-780-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,187	21.2	△38	—	△73	—	△153	—
25年2月期第3四半期	3,454	18.6	△165	—	△199	—	△235	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 △74百万円(—%) 25年2月期第3四半期 △229百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	△2.15	—
25年2月期第3四半期	△3.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年2月期第3四半期	5,492	—	2,049	—	37.3
25年2月期	5,392	—	2,124	—	39.3

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 2,049百万円 25年2月期 2,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	—	—	0.00	0.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,152	28.9	118	—	50	—	△40	—	△0.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	71,337,916株	25年2月期	71,337,916株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	24,635株	25年2月期	24,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	71,313,425株	25年2月期3Q	71,314,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年11月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行のいわゆる異次元の金融緩和等を背景に、円安の進行や株価の上昇、個人消費の持ち直しなどにより、昨年6月あたりから企業収益の改善など景気の拡大傾向が顕著になってきた一方で、円安の副作用ともいえるべき電気料金や原材料価格の上昇に加え消費税引上げ決定などの懸念材料もあり、先行きについては不透明なところもある状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、政府の主要統計指標である機械受注の拡大傾向と軌を一にして足元の受注環境に改善の傾向がみられるものの、当社単体での一昨年秋から昨年2月までの受注低迷の影響もあり、売上高は第2四半期連結会計期間に続き第3四半期連結会計期間での伸び悩みを主因に業績は予定を下回る結果となりました。

住生活事業では、当社単体での健康関連商品や波形手すりの販売が伸び悩んでいるものの、中国子会社での中国国内や欧米をターゲットとした家電、家具部品の製造・販売などの取組みが実を結び始めており、瀋陽の子会社について会社分割、出資持分譲渡等により事業の縮小化を実施したものの、当該事業全体では総じて売上高の顕著な回復がみられました。また、ゆるみ止めナット事業では、主力製品であるハイパーロードナットの市場認知度が徐々に向上し、鉄道や高速道路施設等へ採用拡大が進行しておりますが、引き続き当第3四半期連結会計期間もボルト等のハイパーロードナット以外の商品の販売を抑えたため売上高全体では低調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,187,686千円（前年同期比21.2%増）、経常損失73,499千円（前年同期は199,892千円の経常損失）、四半期純損失は153,864千円（前年同期は235,386千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①試験機事業

試験機事業では、グループ会社相互の連携による製品とサービスの一体販売などシナジー効果を追求しつつ、国内外の代理店ネットワークの強化・充実による標準的製品の販売強化等の取組みを中心に営業展開してまいりましたが、当社単体での売上高が第3四半期連結会計期間でも伸びず、グループ全体では予定をやや下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、試験機事業の売上高は1,902,781千円（前年同期比2.9%増）、営業利益256,920千円（前年同期比10.2%増）となりました。

#### ②住生活事業

住生活事業では、一般消費者向けの健康関連商品や前連結会計年度より取り組んでおります波形手すりクネット等の販売の伸びがなく単体での新規事業も目立ったものではありませんでしたが、中国子会社の電気製品やオフィス家具の部品の売上高が急伸びいたしました。

以上の結果、住生活事業の売上高は2,099,028千円（前年同期比57.5%増）、営業損失は2,186千円（前年同期は49,910千円の営業損失）となりました。

#### ③ゆるみ止めナット事業

ゆるみ止めナット事業では、国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)に登録された主力製品であるハイパーロードナットの技術評価が確立されてきたことから、ゆるみ止め技術に関わる製品類（ナット、スプリング）の道路、鉄道等への採用が増加しつつありますが、大量売上実現には時間を要しております。また、損益的には、ハイパーロードナットの生産・販売関連の固定費削減の諸施策による損

失の圧縮と生産数量の伸長を図っていることから、当第3四半期連結会計期間では相当の改善が見られましたが、売上高がまだ不足していることを主因に黒字化はできませんでした。

以上の結果、ゆるみ止めナット事業の売上高は185,875千円（前年同期比32.2%減）、営業損失111,671千円（前年同期は179,385千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,492,793千円となり、前連結会計年度末に比べ100,194千円増加いたしました。

流動資産は3,665,826千円となり、前連結会計年度末に比べ233,314千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加85,307千円、現金及び預金の増加14,740千円、たな卸資産の増加101,913千円によるものであります。

固定資産は1,826,967千円となり、前連結会計年度末に比べ133,120千円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少93,553千円によるものであります。

流動負債は2,072,342千円となり、前連結会計年度末に比べ194,103千円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加148,501千円によるものであります。

固定負債は1,370,837千円となり、前連結会計年度末に比べ18,927千円減少しました。これは主に長期借入金の減少51,729千円、退職給付引当金の増加30,166千円によるものであります。

純資産は2,049,612千円となり、前連結会計年度末に比べ74,981千円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定の増加78,905千円、利益剰余金の減少153,864千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期連結業績予想につきましては、平成25年9月19日公表の『(訂正)「当社子会社の会社分割および出資持分の譲渡(子会社の異動)ならびに特別利益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正、ならびに当社子会社の出資持分の譲渡(子会社の異動)の完了および業績予想の修正に関するお知らせ』の記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	886,523	901,263
受取手形及び売掛金	1,353,669	1,438,976
商品及び製品	443,954	444,509
仕掛品	400,078	474,671
原材料及び貯蔵品	235,356	262,121
繰延税金資産	6,373	18,707
その他	138,939	162,197
貸倒引当金	△32,384	△36,621
流動資産合計	3,432,511	3,665,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	301,227	295,766
機械装置及び運搬具(純額)	246,356	236,443
土地	893,984	893,984
建設仮勘定	79,641	28,395
工具、器具及び備品(純額)	81,410	115,218
有形固定資産合計	1,602,621	1,569,809
無形固定資産		
借地権	25,819	22,592
のれん	100,165	89,940
その他	92,945	12,844
無形固定資産合計	218,931	125,377
投資その他の資産		
投資有価証券	12,461	12,477
保険積立金	26,655	28,137
繰延税金資産	16,227	9,208
破産更生債権等	306,831	305,900
その他	62,191	60,958
貸倒引当金	△285,832	△284,901
投資その他の資産合計	138,534	131,780
固定資産合計	1,960,087	1,826,967
資産合計	5,392,598	5,492,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,574	1,063,075
1年内返済予定の長期借入金	420,860	392,277
短期借入金	141,340	58,000
未払法人税等	21,712	52,068
賞与引当金	20,838	13,161
その他	358,914	493,759
流動負債合計	1,878,239	2,072,342
固定負債		
長期借入金	929,747	878,018
再評価に係る繰延税金負債	177,716	177,716
繰延税金負債	43	49
退職給付引当金	258,681	288,847
その他	23,577	26,206
固定負債合計	1,389,765	1,370,837
負債合計	3,268,004	3,443,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,713,552	2,713,552
資本剰余金	200,233	200,233
利益剰余金	△1,184,107	△1,337,972
自己株式	△3,630	△3,662
株主資本合計	1,726,047	1,572,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	88
土地再評価差額金	278,871	278,871
為替換算調整勘定	119,596	198,501
その他の包括利益累計額合計	398,546	477,462
純資産合計	2,124,593	2,049,612
負債純資産合計	5,392,598	5,492,793



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	3,454,058	4,187,686
売上原価	2,667,036	3,225,689
売上総利益	787,022	961,996
販売費及び一般管理費	952,550	1,000,748
営業損失(△)	△165,527	△38,751
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,649	3,856
賃貸不動産収入	7,477	6,011
業務受託料	7,971	8,005
為替差益	2,941	—
その他	4,404	40,347
営業外収益合計	25,445	58,220
営業外費用		
支払利息	26,997	26,093
為替差損	—	12,402
賃貸不動産費用	14,441	18,226
その他	18,371	36,245
営業外費用合計	59,810	92,968
経常損失(△)	△199,892	△73,499
特別損失		
会員権評価損	401	—
関係会社株式売却損	—	14,859
特別損失合計	401	14,859
税金等調整前四半期純損失(△)	△200,294	△88,358
法人税、住民税及び事業税	42,542	68,715
法人税等調整額	△7,450	△3,209
法人税等合計	35,091	65,506
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△235,386	△153,864
四半期純損失(△)	△235,386	△153,864

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△235,386	△153,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	10
為替換算調整勘定	5,838	78,905
その他の包括利益合計	5,835	78,915
四半期包括利益	△229,551	△74,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229,551	△74,949
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	試験機事業 (千円)	住生活事業 (千円)	ゆるみ止め ナット事業 (千円)	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,847,475	1,332,335	274,247	3,454,058	—	3,454,058	—	3,454,058
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,847,475	1,332,335	274,247	3,454,058	—	3,454,058	—	3,454,058
セグメント利益 (又は損失)	232,989	△49,910	△179,385	3,694	△1,880	1,814	△167,341	△165,527

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△167,341千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	試験機事業 (千円)	住生活事業 (千円)	ゆるみ止め ナット事業 (千円)	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,902,781	2,099,028	185,875	4,187,686	—	4,187,686	—	4,187,686
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,902,781	2,099,028	185,875	4,187,686	—	4,187,686	—	4,187,686
セグメント利益 (又は損失)	256,920	△2,186	△111,671	143,061	△1,998	141,063	△179,815	△38,751

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△179,815千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。